



もと
うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

司書のオススメ本

～子どもが大好きなキャラクター弁当～

<企画展示コーナーから選んでみました>

キャラクター弁当(略して「キャラ弁」)をご存知でしょうか。子どもが大好きな動物や人物を模したもので、キャラデコ(デコレーションケーキに同様の絵を描いたもの)のお弁当版。

息子の同級生のママが作ったというキャラ弁の写真を見せてもらったり、娘の保育所の保育士が「今朝は5時に起きてキャラ弁作ってきました!」と話しているのを聞いても、すごいな～と驚くばかり。(タコさんウィンナくらいなら作れるのですが・・・)

レシピ本を見ていると、できばえの見事さに「食べるのもったいない～」と思うのは作る親だけ(?)のようで、子ども達は喜んで食べるそうです。今回は、初心者向けのレシピ本を選びました。

新しい本が
入りました。

()内の数字は
棚の番号です

『ママ・マインド あなたの赤ちゃんを幸せにするママレッスン』

志村季世恵/著
岩崎書店/刊
2010.5
(支援1-5)

『タオルえほん・タオルおもちゃ かんたん!愛情手作り』

いしかわ☆まりこ/
[著]
主婦と生活社/刊
2010.6
(支援2-1)

『子どもの心をストレスから守る本』

笠原麻里/監修
講談社/刊
2010.6
(支援3-4)

『子どもを生活習慣病にしない食卓』

北川博敏/著
主婦の友社/刊
2010.6
(支援4-2)

<おススメbook>

『はじめてのキャラ弁』
[asami]/[料理製作]
学習研究社/刊

『かわいいおえかきべんとう』
坂本プリン/著
ブティック社/刊

『はじめての絵ごころ弁当
おいしい!かわいい!楽しい!』
莓ママ/ほか著
旭屋出版/刊



このコーナーでは、子育て中の方に役立つテーマを選び、実際に図書館で司書が探し出した資料や、それをどうやって調べたか、調査して感じたこと、後日談などをご紹介します。

子育て支援コーナーでは年4回、3ヶ月ごとに企画展示を入れ替えています。先月も入れ替え作業の準備をしている頃に、小学生くらいの子どもがいらっしゃるという女性がレファレンスカウンターを訪れました。「おにぎりとおむすびって、何がどう違うんでしょう?」はて?言われてみれば、謎ですね。

とりあえず、辞典を見ると...

手元にあった『広辞苑』(岩波書店、第6版)を見ると、
「お-にぎり【御握り】にぎりめし。おむすび」
「お-むすび【御結び】握飯(にぎりめし)のこと」とありました。ちなみに、
「にぎりめし【握り飯】握り固めた飯。むすび。おにぎり」とあります。
うーん、どれから引いてもぐるぐる回ってる感じです。



そういえば、展示する本の中に!



6月12日から展示する予定の本を集めた中に、おにぎりについての本や絵本もありました。早速探してみると、

『発見!体験!日本の食事 5 おにぎり』(ポプラ社)という本が目にとまりました。中を見てゆくと、「おにぎりとおむすび、どちらがう?」というページが!

この本では、“だいたい東の地方では、「むすび」とか「おむすび」が多く、西の地方では「にぎりめし」とか「おにぎり」が多い」といわれている”とされていました。

国立国会図書館が提供しているサービスで、全国の比較的大きな図書館が調べた内容や調べ方を参照できるものです。

全国的に、悩んでいるようです。

後で、「レファレンス協同データベース」に、「おにぎり」と入力して検索すると、当館のほか、東京都立中央図書館や栃木県立図書館でも、よく似た内容の調査をしていることがわかりました。

もうすぐ10万冊!いつかな???

コーナー開設から3年が過ぎ、延べ貸出冊数が間もなく10万冊に達します。最近のペースだと、次号が出る頃には10万冊を超えるでしょう。いつになるのか、楽しみです。

編集後記

7月には、東京都と秋田県から立て続けに、当館の子育て支援コーナーを視察される方が来館されました。「うちの図書館にも作りたい!」という熱意が伝わってきて、とても嬉しかったです。